



ワイヤレスストリーミングアンプ WXA-50

ワイヤレスストリーミングプリアンプ WXC-50

取扱説明書（基本編）

musicCast

ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用前に本書の「安全上のご注意」(i～ivページ)を必ずお読みください。

- 製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。
お読みになったあとは、保証書と共にいつでも見られるところに大切に保管してください。
- 保証書に「購入日、販売店名」が正しく記入されていることを必ずご確認ください。

この製品の詳しい操作方法については「取扱説明書（応用編）」（PDF版）をご覧ください。
「取扱説明書（応用編）」は下記のウェブサイトからダウンロードできます。

<http://download.yamaha.com/jp/>

保証書別添付

安全上のご注意




ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「～しないでください」という「禁止」を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

電源 / 電源コード



必ず実行

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。
万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。



プラグを抜く

下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- 異常なおいや音がする。
 - 煙が出る。
 - 内部に水や異物が混入した。
 - 異常に高温になる。
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけない。
● 重いものを上に載せない。
● ステータブルで止めない。
● 加工をしない。
● 熱器具には近づけない。
● 無理な力を加えない。
芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



必ず実行

必ず AC100V (50/60Hz) の電源電圧で使用する。
それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。



必ず実行

電源コードは、必ず付属のものを使用する。また、付属の電源コードをほかの製品に使用しない。
故障、発熱、火災などの原因になります。

電池



禁止

電池を充電しない。
電池の破裂や液もれにより火災やけがの原因になります。



禁止

電池からもれ出た液には直接触れない。
液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。



禁止

電池を加熱・分解したり、直射日光にさらしたり、火や水の中へ入れない。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

分解禁止



分解禁止

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。
火災や感電の原因になります。
修理・調整は販売店にご依頼ください。

設置



水ぬれ禁止

本機を下記の間所には設置しない。
● 浴室・台所・海岸・水辺
● 加湿器を過度にきかせた部屋
● 雨や雪、水がかかるところ
水の混入により、火災や感電の原因になります。



禁止

放熱のため本機を設置する際には：

- 布やテーブルクロスをかけない。
- じゅうたん・カーペットの上には設置しない。
- 仰向けや横倒しには設置しない。
- 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。

(本機の周囲に左右 10cm、上 10cm、背面 10cm 以上のスペースを確保する。)

本機の内部に熱がこもり、火災の原因になります。



禁止

医療機関の屋内など医療機器の近くで使用しない。

電波が医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。



必ず実行

心臓ペースメーカーの装着部位から 22 cm 以上離して使用する。

本機が発生する電波により、ペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。



必ず実行

十分な耐荷重強度のある、水平で安定した場所に設置する。

傾斜面や、水平でないところ、カーペット、畳などの安定しない面や変形する面などに設置しないでください。

使用上の注意



必ず実行

本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検や修理を依頼する。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



接触禁止

雷が鳴りはじめたら、電源プラグには触れない。感電の原因になります。



禁止

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。水や異物が中に入ると、火災や感電の原因になります。接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因になります。

お手入れ



必ず実行

電源プラグのゴミやほこりは、定期的にとり除く。ほこりがたまったまま使用続けると、プラグがショートして火災や感電の原因になります。



注意

この表示の欄は、「けがを負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

電源 / 電源コード



必ず実行

本機を主電源から完全に切り離すには、電源プラグをコンセントから抜く。

本体の () (電源) でスタンバイ状態にしても、本機はまだ通電状態にあります。



プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。火災や感電の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。感電の原因になります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。

コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



必ず実行

電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。

差し込みが不充分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因になります。



禁止

電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントは使用しない。

感電や発熱および火災の原因になります。

電池



必ず実行

電池は極性表示 (プラス+とマイナス-) に従って、正しく入れる。

電池の破裂や液もれにより火災やけがの原因になります。



必ず実行

電池は幼児の手の届かない所に保管する。口に入れたりすると危険です。



禁止

指定以外の電池は使用しない。また、種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



禁止

電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。電池がショートし、破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



必ず実行

長時間使用しない場合は、電池を電池ケースから抜いておく。

電池が消耗し、電池から液漏れが発生し、本機を損傷するおそれがあります。



必ず実行

使い切った電池は、すぐに電池ケースから取り出し、自治体の条例または取り決めに従って廃棄する。

破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

設置



禁止

不安定な場所や振動する場所には設置しない。本機が落下や転倒して、けがの原因になります。



禁止

直射日光のあたる場所や、温度が異常に高い場所 (暖房機のそばなど) には設置しない。本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因になります。



禁止

ほこりや湿気の多い場所に設置しない。
ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因になります。



必ず実行

他の電気製品とはできるだけ離して設置する。
本機はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。



必ず実行

無線ネットワークを使用する場合は、金属製の壁や机、電子レンジ、他の無線ネットワーク機器の近くへの設置を避ける。
遮蔽物があると通信可能距離が短くなる場合があります。



必ず実行

機器を接続する場合は、接続する機器の電源を切る。
突然大きな音が出たり、感電したりすることがあります。

移動



プラグを抜く

移動をするときには電源を切り、すべての接続を外す。
接続機器が落下や転倒して、けがの原因になりません。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

使用上の注意



禁止

音が歪んだ状態で長時間使用しない。
スピーカーが発熱し、火災の原因になります。



禁止

環境温度が急激に変化する場所では使用しない。
本機に結露が発生することがあります。正常に動作しないときには、電源を入れない状態でしばらく放置してください。



必ず実行

小さな部品は幼児の手の届かないところに保管する。
飲み込んだりすると危険です。

リモコン



禁止

水やお茶などの液体をこぼさない。
電池がショートし、破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。感電の原因になります。



禁止

落としたり、強い衝撃を与えたりしない。
故障の原因になります。



禁止

下記のような場所に置かない。
● 風呂場の近くなど、湿度が高いところ
● 暖房器具やストーブの近くなど、温度が高いところ。
● 極端に寒いところ
● ほこりの多いところ
火災や故障の原因になります。

お手入れ



必ず実行

お手入れをするときには、必ず電源プラグを抜く。
感電の原因になります。



禁止

薬物厳禁
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。
外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

お手入れのしかた

キャビネットを美しく保つため、柔らかい布で乾拭きするようにしてください。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。
静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めてご使用になるのも一つの方法です。
音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

本機の無線方式について (Wi-Fi)

2.4 DS/OF 4

「2.4」 2.4 GHz 帯を使用する無線設備
「DS/OF」 変調方式は DS-SS および OFDM 方式
「4」 想定干渉距離が 40 m 以内
全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の
帯域を回避可能

(Bluetooth)

2.4 FH 1

「2.4」 2.4 GHz 帯を使用する無線設備
「FH」 変調方式は周波数ホッピング (FH-SS)
方式
「1」 想定干渉距離が 10 m 以内
全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の
帯域を回避不可

無線に関するご注意

この製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

Bluetooth について

Bluetooth とは、2.4 GHz 帯の電波を利用して、対応する機器と無線で通信を行うことができる技術です。

Bluetooth 通信の取り扱いについて

- ・ Bluetooth 対応機器が使用する 2.4 GHz 帯は、さまざまな機器が使用する周波数帯です。Bluetooth 対応機器は同じ周波数帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を採用していますが、他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断されることがあります。
- ・ 通信機器間の距離や障害物、電波状況、機器の種類により、通信速度や通信距離は異なります。
- ・ すべての Bluetooth 機能対応機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。

本機は、電波法に基づく認証を受けた無線機器を搭載しています。そのため、無線局の免許は不要です。

本機の製品ラベルは本体の底面に掲示してあります。

商標

MusicCast

MusicCast は、ヤマハ株式会社の商標または登録商標です。



Wi-Fi CERTIFIED ロゴは Wi-Fi Alliance の認証マークです。
Wi-Fi Protected Setup マークは Wi-Fi Alliance の認証マークです。

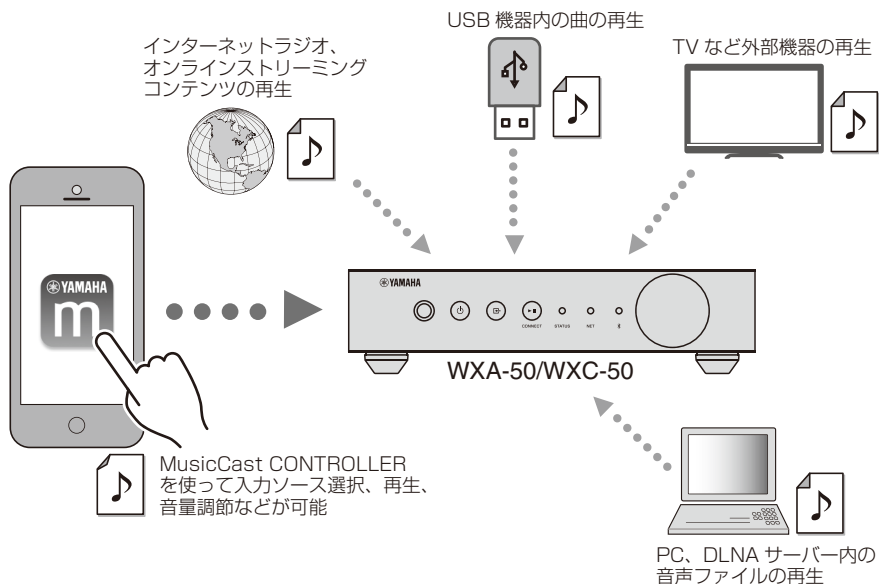
Bluetooth

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、ヤマハ株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

本機でできること

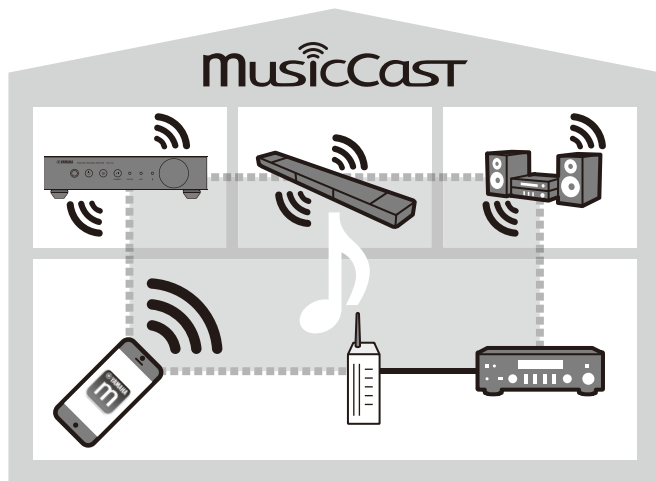
■ 「MusicCast CONTROLLER」で簡単操作

「MusicCast CONTROLLER」を使うと、スマートフォンなどのモバイル端末から各種設定や選曲が可能になり、さまざまなコンテンツを簡単に楽しめます。



■ MusicCast で簡単ホームオーディオネットワーク

MusicCast 対応のオーディオ機器をご家庭の各部屋に設置すると、家の内のどこでも音楽コンテンツを共有して楽しむことができます。



付属品

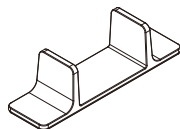
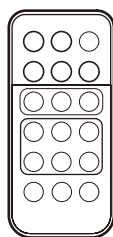
以下の付属品を確認してください。

リモコン

縦置きスタンド× 2

無線アンテナ

電源コード

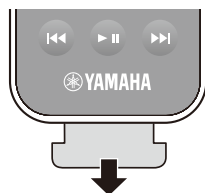


滑り止めパッド× 6
(予備× 2)

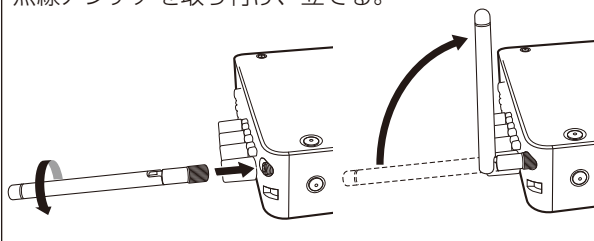


横置きする場合は、レグ
に貼ってください。

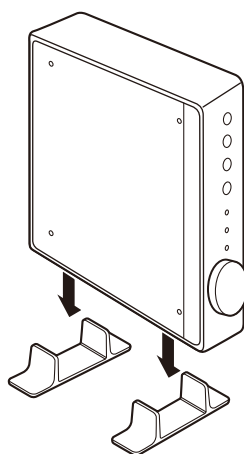
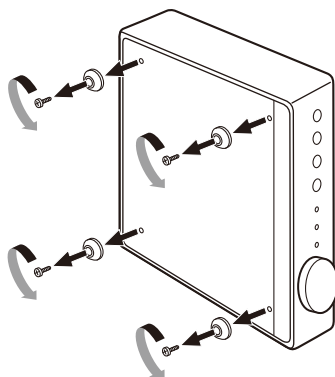
リモコンの絶縁シートを外す。



無線アンテナを取り付け、立てる。



縦置きスタンドの使いかた



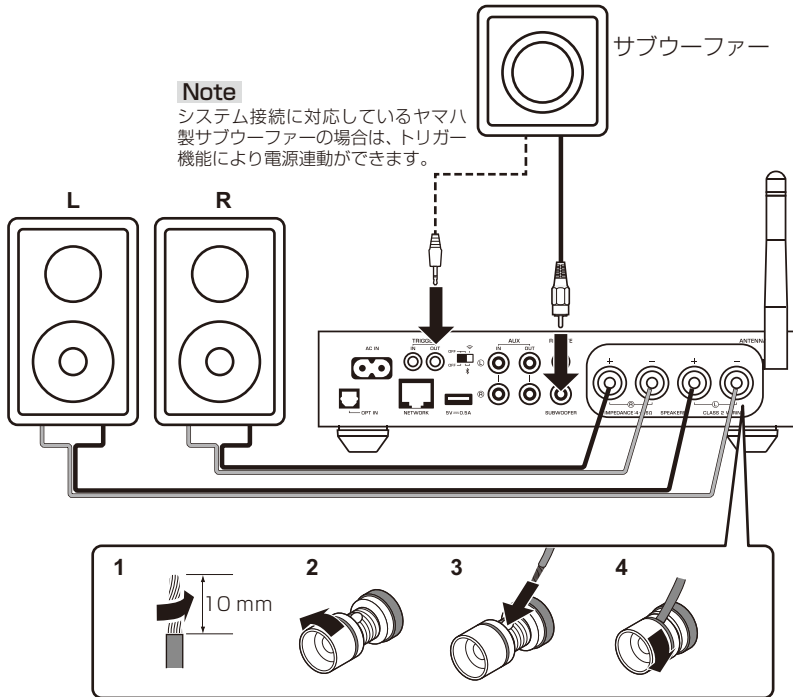
Note

取り外したレグとネジ (各 4 個) は、紛失しないよう
に保管してください。

接続する

以下の順序で接続してください。

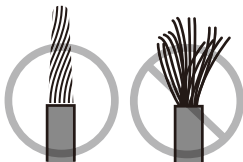
■ (WXA-50 の場合) スピーカーを接続する



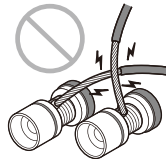
スピーカーケーブル接続のご注意

正しくない方法で接続すると、スピーカーケーブルがショートし、本機やスピーカーが故障する原因となります。

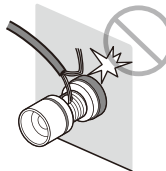
- ・ 芯線の先端をしっかりよじる



- ・ 芯線どうしを接触させない



- ・ 芯線を本機の金属部（背面のパネル、ネジ）に接触させない

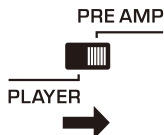


■ (WXC-50 の場合) オーディオシステムに接続する

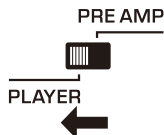
Notice

スイッチの切り替えは電源スタンバイで行ってください。

音量調整を「MusicCast CONTROLLER」 や本機で行う場合

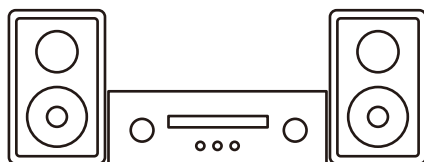


音量調整をオーディオシステムで 行う場合

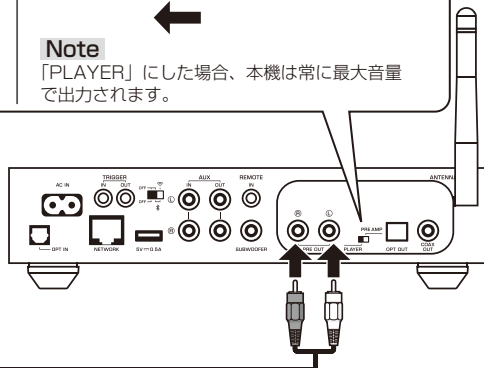


Note

「PLAYER」にした場合、本機は常に最大音量で出力されます。



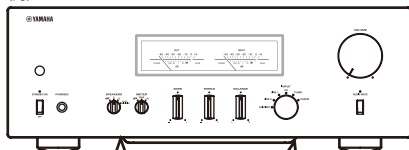
ミニコンポ /
HiFi オーディオシステム



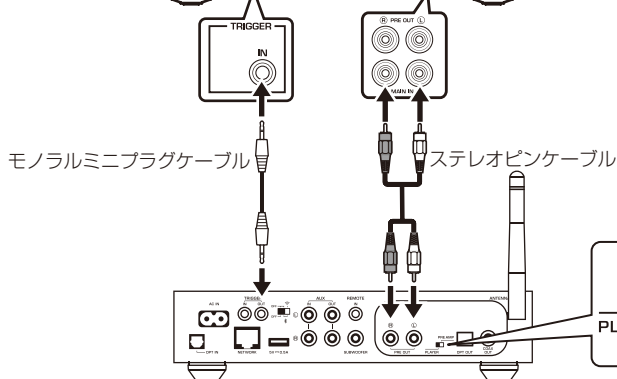
ヤマハ HiFi アンプ (A-S シリーズ) を接続する場合

下記の接続をすると、本機の電源のオン / スタンバイに連動して、A-S シリーズの電源もオン / スタンバイします。

例) A-S1100



この機能の詳細は、A-S シリーズ
の取扱説明書を参照してください。

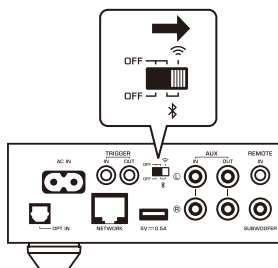


Note

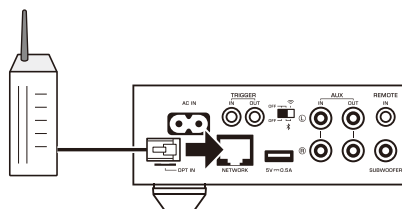
接続に必要な各ケーブルは別途ご用意ください。

■ ネットワークを接続する

無線接続する場合



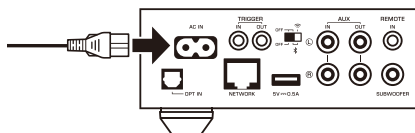
有線接続する場合




Note

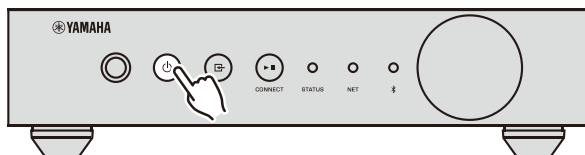
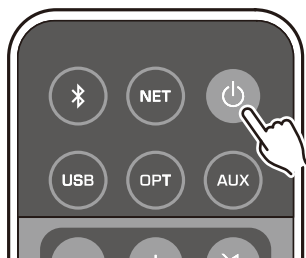
ハイレゾリューションコンテンツを再生する場合には有線接続を推奨します。

■ 電源コードを接続する



電源のオン / スタンバイのしかた

フロントパネルまたはリモコンの  (電源) で電源のオン / スタンバイを切り替えます。

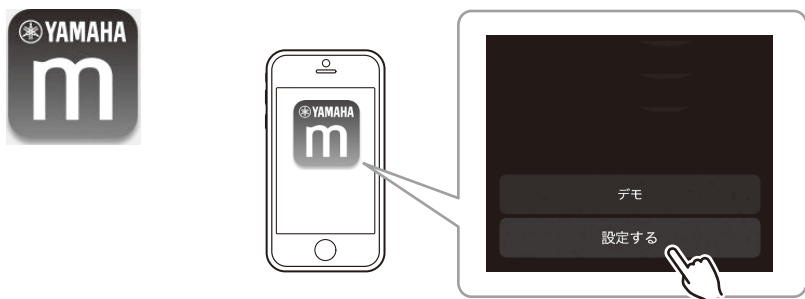


MusicCast CONTROLLER を スマートフォンにインストールする

App Store または Google Play™ で「MusicCast CONTROLLER」を検索し、インストールしてください。

MusicCast CONTROLLER で ネットワークに接続する

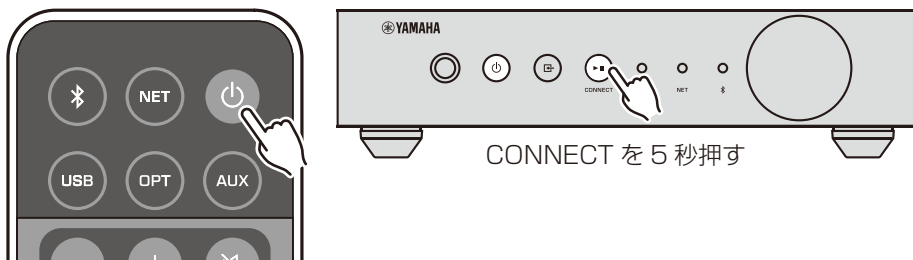
- 1 MusicCast CONTROLLER を起動し、「設定する」をタップする。



Note

すでに別の MusicCast 機器を登録している場合は、「設定する」をタップしてから「新しい機器を登録する」をタップする。

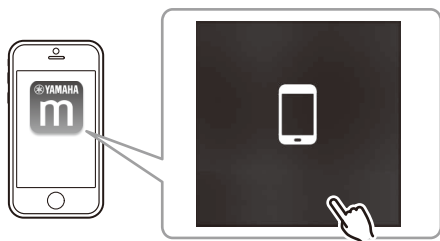
- 2 MusicCast CONTROLLER の案内に従って操作すると、ネットワーク接続が完了します。



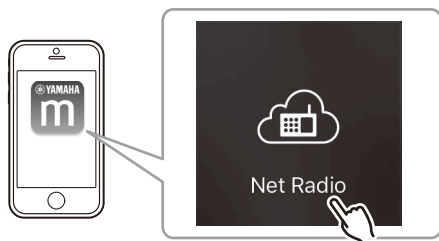
再生する

■ MusicCast CONTROLLER を使って音楽を楽しむ

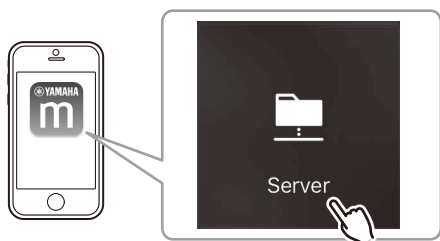
スマートフォンの音楽



インターネットラジオ



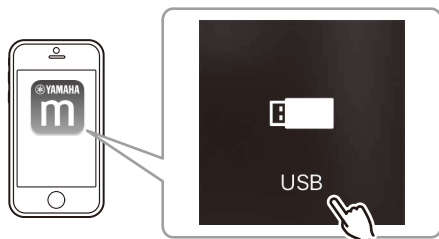
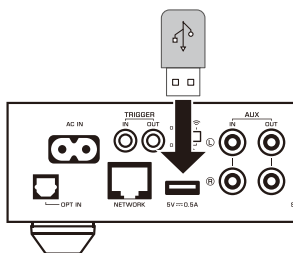
パソコンや NAS の音楽



ストリーミングサービス



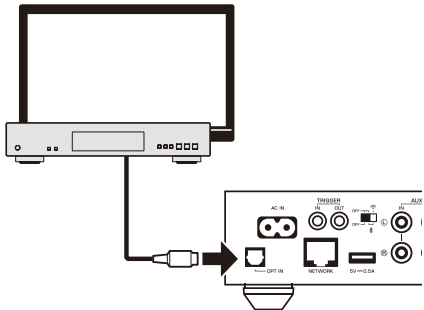
USB メモリの音楽



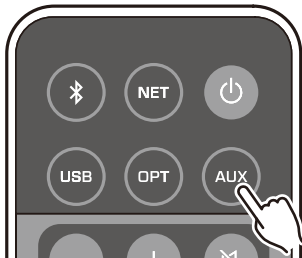
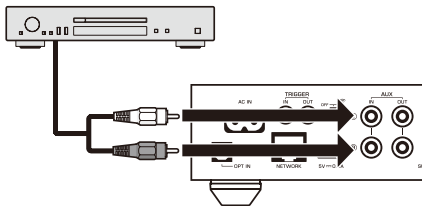
■ その他の音楽を再生する

外部機器の音楽を聴く

光デジタル信号を接続する

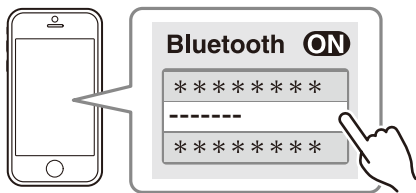
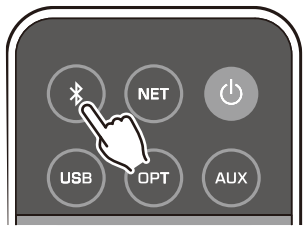


アナログステレオ信号を接続する



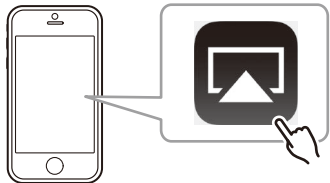
Bluetooth 機器の音楽を聴く

Bluetooth 入力にして、Bluetooth 機器の設定から本機を選んでください。



AirPlay で音楽を聴く

AirPlay リストから本機を選んでください。



詳しい操作方法は

本機では他にも、音質調整などいろいろな設定ができます。詳しい操作方法は、ウェブサイトから「取扱説明書（応用編）」をダウンロードし、参照してください。

- 1 ブラウザから <http://download.yamaha.com/jp/> にアクセスする。
- 2 「モデル名から検索」の空欄に、WXA-50（または WXC-50）を入力する。
- 3 「検索」ボタンをクリックする。
- 4 「検索結果」にしたがって必要なマニュアルをダウンロードする。

故障かな？と思ったら

使用中に本機が正常に動作しなくなった場合は、下記をご確認ください。

下記以外で異常が認められた場合や下記の対処を行っても正常に動作しない場合は、本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてから、お買上げ店または巻末の「お問合わせ窓口」にお問い合わせください。

全般

症状	原因	対策
電源が入らない。	電源コードが正しく接続されていない。 保護回路が作動した。	電源コードを刺しなおす。 製品保護のため電源が入りません。ヤマハ修理ご相談センターに修理をご依頼ください。
電源を入れてもすぐに切れる。	スピーカーケーブルがショートしている。 本機の内部電源回路が故障した。	各スピーカーケーブルを正しく接続する (3 ページ) ヤマハ修理ご相談センターに修理をご依頼ください。
本機が操作を受け付けない。	落雷、過度の静電気などの外的ショックで内部の CPU がフリーズした。	⓪ (電源) を 15 秒以上押し、本機を再起動する。
音が出ない。	スピーカーやオーディオシステムが正しく接続されていない。 再生したい音楽ソースが正しく選ばれていない。 音量が最小またはミュートになっている。 光入力に接続した機器の出力が PCM 以外の音声方式になっている。	接続が正しいことを確認する。 正しい入力を選んでください。 音量を大きくしてください。 本機的光入力は PCM 信号のみに対応しています。テレビや接続した機器の音声設定を確認し、PCM で入力してください。

ネットワーク

症状	原因	対策
MusicCast CONTROLLER で接続の設定ができない。	モバイル端末がご家庭のルーターに Wi-Fi 接続されていない。 アプリが本機の検出に時間がかかっている。 背面の無線スイッチがオフになっている。 本機の電源がスタンバイになっている。 無線ルーター（アクセスポイント）のファイアウォール設定により、ネットワークへのアクセスが制限されている。	モバイル端末をルーターに接続した後、MusicCast CONTROLLER で設定してください。 モバイル端末のモバイルデータ通信を無効にしてください。 モバイル端末がスリープ状態にならないようにしてしばらくお待ちください。 有線 LAN を接続するか、無線スイッチを正しく設定してください。 本機の電源をオンにしてください。 無線ルーター（アクセスポイント）のファイアウォールや MAC アドレスフィルタの設定をご確認ください。

症状	原因	対策
ネットワーク機能を使用できない。	ネットワーク情報（IP アドレス）が正しく取得されていない。	ルーターの DHCP サーバー機能を有効にしてください。
	本機が起動中である。（電源コードをコンセントに差ししてから約 10 秒間かかる。）	本機が起動完了してからネットワーク機能をご使用ください。
ネットワーク経路によるファームウェアの更新に失敗した。	ネットワークの接続状態がよくない。	しばらく経ってから再度更新をお試しください。
無線ルーター（アクセスポイント）経由でインターネットに接続できない。	無線ルーター（アクセスポイント）の電源が切れている。	無線ルーター（アクセスポイント）の電源を入れてください。
	本機と無線ルーター（アクセスポイント）との距離が離れすぎているか、間に障害物がある。	本機と無線ルーター（アクセスポイント）を近づけて設置するか、障害物がない場所に設置してください。

Bluetooth

症状	原因	対策
本機と接続機器がペアリングできない。	接続機器が A2DP に対応していない。	A2DP に対応した機器とペアリングしてください。
	本機と接続機器の距離が離れすぎている。	接続機器を本機に近づけてください。
	本機がスタンバイモードになっている。	本機を電源オンし、Bluetooth 入力に合わせてから、ペアリング操作をしてください。
	すでに他の Bluetooth 機器と接続している。	接続中の機器をいったん切断してから、ペアリングしてください。

STATUS インジケーター（前面パネル）のエラー表示

色	表示状態	点滅回数	本機の状況
レッド	電源を入れてもすぐに電源が切れ、点滅する	2 ～ 8 回繰り返す	製品保護のために電源が切れました。
	電源を入れようとしても入らずに、点滅する	4 ～ 8 回繰り返す	製品保護のために電源が入りません。ヤマハ修理ご相談センターに修理をご依頼ください。
	点滅する (0.5 秒に 1 回の点滅)	2 ～ 7 回点滅した後に 1 秒間消灯を、電源を切るまで繰り返す	アップデートのエラーです。アップデートの方法は、ウェブサイトから「取扱説明書（応用編）」をダウンロードし、参照してください。
	ゆっくり点滅する (1 秒に 1 回の点滅)	2 回繰り返す	USB のエラーです。
		3 回繰り返す	ネットワークのエラーです。
		5 回繰り返す 電源を切るまで繰り返す	WAC/WPS/CONNECT のエラーです。 前回のアップデートに失敗しました。再度アップデートを実行してください。アップデートの方法は、ウェブサイトから「取扱説明書（応用編）」をダウンロードし、参照してください。
オレンジ	点滅する	2 回繰り返す	リモコンの ID が違うか、リモコンの受光が無効化されています。リモコンの設定は、ウェブサイトから「取扱説明書（応用編）」をダウンロードし、参照してください。
ホワイト	電源を入れた直後に、ゆっくり点滅する	10 回繰り返す	新しいファームウェアがあります。アップデートの方法は、ウェブサイトから「取扱説明書（応用編）」をダウンロードし、参照してください。

お問い合わせ窓口

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■お客様コミュニケーションセンター オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口



0570-011-808

固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-3409

受付：月～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

■ホームシアター・オーディオサポートメニュー

お客様からお寄せいただくよくあるお問い合わせをまとめました。
ぜひご覧ください。

<http://jp.yamaha.com/support/audio-visual/>

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ヤマハ修理ご相談センター



0570-012-808

固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-4830

受付：月～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

FAXでのお問い合わせ

北海道、東北、関東、甲信越、東海地域にお住まいのお客様
(03) 5762-2125

北陸、近畿、中国、四国、九州、沖縄地域にお住まいのお客様
(06) 6649-9340

修理品お持ち込み窓口

受付：月～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

*お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
FAX (03) 5762-2125

西日本サービスセンター

〒556-0011 大阪府浪速区難波中1丁目13-17
ナナ(七)本ビル7F
FAX (06) 6649-9340

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

●保証期間

製品に添付されている保証書をご覧ください。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

●修理料金の仕組み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●製品の状態は詳しく

サービスを ご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

* 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示されています。

●スピーカーの修理

スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

●摩耗部品の交換について

本機には使用年数とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。本機を未永く安定にご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

* このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

永年ご使用の製品の点検を！



愛情点検

こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コグくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズが変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感ずる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

Manual Development Department
© 2016 Yamaha Corporation

2016年5月発行 NV-A0
Printed in Malaysia

ZU47660

ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中区中沢町10-1